令和２年度　津幡町立津幡小学校　教育目標及び教育方針

１．石川の教育振興基本計画

（１）基本理念　『未来を拓く 心豊かな人づくり』

（２）めざす人間像

① ふるさとに誇りを持ち，広い視野に立って社会に貢献する人間
② 生涯学び続ける意欲に満ち，確かな学力を身に付け，個性や創造性に富む人間
③ 責任とモラルを重んじ，人を思いやる心豊かな人間
④ 健康や体力の増進に努める，活力ある人間

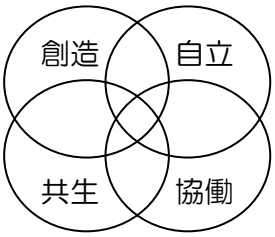
（３）基本目標

① いしかわに誇りと愛着を持ち，世界と地域に貢献する人材を育成します
② 学力を高め，社会の変化に対応できる資質･能力を育成します
③ 豊かな心と健やかな体を備えたタフな人づくりを推進します
④ 信頼される質の高い学校づくりを推進します
⑤ 高等教育機関の集積を活かした「学都石川」の魅力向上を推進します
⑥ 社会全体で家庭や地域の教育力の向上を推進します
⑦ 生涯にわたり学び続ける環境づくりを推進します
⑧ ライフステージに応じたスポーツ活動を充実します

２．津幡町の教育方針

（１）基本理念　　―　ふるさと「つばた」を愛し，未来を拓く心豊かな人づくり　―

（２）めざす町の教育像



◆郷土愛をはぐくみ，創造性に富んだ人間の育成
◆充実した人生を主体的に切り拓いていくことができる人間の育成
◆共に支え合い，認め合いながら生きる教育環境の充実
◆地域と連携した生涯にわたる学習活動およびスポーツ活動の推進

（３）教育委員会重点施策

基本目標１．郷土の文化や風土を学び，国際社会に通じる人づくり
基本目標２．確かな学力を身に付け，個性や創造性に富む人づくり
　　・教員の指導力向上→プロ意識（専門性）の向上と研修体制の充実
基本目標３．道徳心をはぐくみ，心豊かで活力ある人づくり
　　・健やかな心の育成→全教職員での情熱あふれる本気の関わり
基本目標４．安全で安心できる教育環境づくり
　　・安全・安心の保障→平時のリスク管理と有事の危機管理
　　・教職員の心身の健康→働き方改革の推進とメンタルヘルスケア
基本目標５．学びと創造に満ちた社会環境づくり
基本目標６．スポーツを通じた地域の活性化と健康・体力づくり
基本目標７．地域と友に歩む絆づくり

３．本校の教育基本方針

（１）校　　訓　「質実剛健」

「質実」は飾り気がなく，まじめなこと。「剛健」は心や体が強く，たくましいこと。

（２）教育目標　「つながり合い，たくましく生きぬく児童の育成」

（３）めざす学校像（学校経営方針）

① 楽しく学び合う学校『**た**かみをめざし，**の**びていく。**し**っぱいしても，**く**じけない。』

・主体的・対話的に深く学び合う力を育て，確かな学力と学びに向かう力を培う。
・思いやりの心を持ち，感動や喜びを素直に表現できる，心豊かな児童を育成する。
・心身ともに健康で，たくましく粘り強く頑張る児童を育てる。

② 信頼される学校

・児童一人一人を尊重し，安全で安心できる学校づくりに努める。
・いじめや不登校等，児童や保護者の悩みや不安に寄り添い，誠意を持って対応する。
・温かな人間関係づくりに努め，体罰のない教師集団となるよう教師力を磨く。

③ 開かれた学校

・地域の人・物・環境等の教育資源を教育課程に位置付け，積極的に活用する。
・学校の教育方針や取組を，お便りやＨＰ等で家庭や地域に広く発信する。
・家庭や地域と目標や悩みを共有しながら，連携しながら児童を育てる。

（４）めざす児童像

① 粘り強く，鍛え合う子（体）**【つ：強い体と心】**

・健康に気をつけ，心も体も鍛えようとする子
・めあてに向かって，粘り強くがんばる子

② 優しく，助け合う子（徳）**【ば：場所と時間に応じた行動】**

・礼儀や規範を守り，自らを律する子
・人を思いやり，支え合って行動する子
・自他の良さに気づき，素直に反応する子

③ よく考え，学び合う子（知）**【た：たのしく学ぶ】**

・めあてをもって，意欲的に取り組む子
・よく考え，他と関わり合って学ぶ子
・最後まであきらめずに，やり遂げる子

（５）めざす教師像

① 教育公務員としての情熱をもち，自己研鑽に努める教師（教育のプロとして）
② 組織の一員としての使命感をもち，職務を遂行する教師（チーム大西山）
③ 積極的なコミュニケーションにより，信頼関係を築く教師（開かれた学校）

（６）今年度の重点事項（★は，町共通項目）

① 確かな学力を身に付け，個性や創造性に富む人づくり（知）

★学力向上ロードマップを実働化させ，学力向上プランをもとに授業改善を図る。

★校内研究を核として，主体的・対話的で深い学びのある授業を構築する。

・学びを支える８項目を共通実践し，学力・学習を支える基礎・基本の力を定着させる。

・若手教員育成プログラムをもとに，学校全体の授業力・教師力を向上させる。

★デジタル教科書等を含むＩＣＴ機器を効果的に活用した授業づくりを推進する。

★小中連携を意識しながらＣＡＮ－ＤＯリストのねらいを明確にした授業を実践する。

・学校図書館の活用や朝読書の取組改善を進め，読書の質の向上を図る。

② 道徳心をはぐくみ，心豊かで活力ある人づくり（徳）

・「親切・思いやり」を重点目標とし，素直に表現できる心豊かな児童を育成する。

・「考え，議論する道徳」を意識した授業の工夫改善を図る。

・道徳の別葉を活用し，教科横断的な視点で道徳的心情や態度・実践力を培う。

③ 児童の体力向上と健康・安全教育の推進（体）

・「体力アップ１校１プラン」をもとに，全校で体力アップに取り組む。

・歯磨きの習慣化をはじめ，児童自身の健康への関心を高める健康教育を推進する。

・避難訓練の実施を含め，危機予測能力・事故回避能力の育成に努める。

④ 楽しく安心できる教育環境づくり

・授業の中に生徒指導の３機能を生かし，一人一人の居場所づくりを保障する。

・いじめアンケートやＱＵ調査を活用し，問題の早期発見・早期対応に努める。

・自己有用感を高める温かい働きかけを大切にし，児童の気持ちを受容しながら指導・支援する。

・学級活動や児童会活動等で，児童の自主性を大切にし，主体的な活動を推進する。

⑤ 教職員の働き方改革・業務改善の推進

★限られた時間の中で、効果的な指導を行うための業務の見直しを図る。

・組織の一員としての自覚と責任を持ち、組織的に協働し、問題の解決・改善を図る。

・学校の教育方針・取組や児童の様子をＰＴＡ等外部関係機関に積極的に周知し，連携・活用を推進する。

・地域や外部の教育力を活用し、人・歴史・文化等と触れ合う体験活動の機会充実を図る。

４．学校教育全体計画

校訓　質　実　剛　健

関係法規等
- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 石川の教育振興基本計画
- 県学校教育指導の重点
- 町の教育振興基本計画

めざす学校像
①楽しく学び合う学校
②信頼される学校
③開かれた学校

社会の変化
- 国際化・情報化の進展
- 少子高齢化・核家族化
- 価値観の多様化
- 学校教育への期待の増加
- 地域連帯感の希薄化

学校教育目標
つながり合い，たくましく生きぬく児童の育成

地域の実態
- 津幡川に沿って商店街や住宅街が広がり，昔から津幡町の中心として栄えてきた所であるが，近年はややかげりが見られる。
- 新興住宅地の増加により，転入世帯が増え，核家族化や価値観の多様化が進んでいるが，保護者や地域の人たちは学校に協力的である。

めざす児童像
- **粘り強く，鍛え合う子**
  （強い体と心）
- **やさしく，助け合う子**
  （場所と時間に応じた行動）
- **よく考え，学び合う子**
  （楽しく学ぶ）

児童の実態
- 明るく真面目であるが，主体性や最後までやりぬこうとする力に欠け，周囲に流されやすい。
- 自分の考えを持ち，小グループで話し合えるが，全体の場で深め合うまでには至らない。

今年度の重点目標（★は町共通項目）

① 確かな学力を身に付け，個性や創造性に富む人づくり（知）
★学力向上ロードマップの実働化と学力向上プランによる授業改善
★校内研究を核に，主体的・対話的で深い学びのある授業の構築
・学びを支える８項目の共通実践と学力・学習を支える力の定着
・若手教員育成プログラムによる授業力・教師力の向上
★デジタル教科書等を含むＩＣＴ機器の効果的活用
★ＣＡＮ－ＤＯリストのねらいを明確にした授業実践
・学校図書館の活用や朝読書の取組改善による読書の質の向上

② 道徳心をはぐくみ，心豊かで活力ある人づくり（徳）
・「親切・思いやり」を重点目標に，素直に表現できる心豊かな児童の育成
・「考え，議論する道徳」を意識した授業の工夫改善
・道徳別葉の活用による，教科横断的な視点での道徳的心情や態度・実践力の育成

③ 児童の体力向上と健康・安全教育の推進（体）
・「体力アップ１校１プラン」での全校体力アップ
・歯磨きの習慣化をはじめ，児童自身の健康への関心を高める健康教育の推進
・避難訓練の実施を含めた危機予測能力・事故回避能力の育成

④ 楽しく安心できる教育環境づくり
・生徒指導の３機能を生かした一人一人の居場所づくりの保障
・いじめアンケートやＱＵ調査を活用した早期発見・早期対応
・自己有用感を高める児童に寄り添った温かい指導・支援
・児童の自主性を大切にした主体的な活動の推進

⑤ 教職員の働き方改革・業務改善の推進
★限られた時間の中で、効果的な指導を行うための業務の見直し
・組織的な協働による問題の解決
・外部関係機関への積極的な周知・連携・活用の推進
・改善・地域や外部の教育力の活用による体験活動の機会充実

各教科
- 生きて働く「知識・技能」の習得
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」等の育成
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養
- 他と関わり合いながら，主体的・協働的に課題を解決する場の設定

道徳教育
- 「特別の教科 道徳」を中心に，自己の生き方を考え，主体的な判断のもとに行動し，自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性の育成

総合的な学習の時間
- 自ら課題を見つけ自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する能力の育成
- 学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探求活動に主体的に取り組む態度の育成

特別活動
- 望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る
- 集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度の育成
- 人間としての生き方についての自覚を深め，自己を生かす能力の育成

その他の教育活動
①特別支援教育
②生徒指導
③国際理解教育
④学校図書館教育
⑤視聴覚・情報教育
⑥環境教育
⑦キャリア教育
⑧人権教育・心の教育
⑨健康教育
⑩安全教育
⑪給食指導

学校運営の推進基盤
① 組織として機能する教師集団づくり
②安心して学べる環境づくり

研究主題　「楽しく学び合う子」
～根拠・理由を明確にしながら
深め合う姿をめざして～

めざす教師像
① 情熱を持ち，自己研鑽に努める教師
② 使命感を持ち，職務を遂行する教師
③ コミュニケーションにより，信頼関係を築く教師